

# 東西条地域センターだより

## 第35号

平成30年12月25日発行

東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

### 正月の 子供に成って 見たきかな (一茶)

季語はお正月。一年の最初の月。お正月と呼び習わしているように、特別な月に対する祝意と親しみが籠る。「太郎月」「祝月」「元月」をはじめとして異称も多い。

(俳句歳時記・角川学芸文庫出版より)

句意：お正月が来ると、子どもたちはお年玉をもらい、凧揚げや駒回しをして遊んでいます。そんな無邪気な子供になってみたいものですよ。

1月1日を元旦と呼ぶ。元は「はじめ」、旦は「日の出・朝」を意味するので、1年で最初の夜明け、もしくは元日の朝を指す。今ではその感覚は薄れてしまっているが、本来この元旦には年神を迎えていた。わたしたちが何げなく使っているこの「年」という言葉。古来、和語では穀物、特に稲の事を「とし」と呼び、その収穫サイクルが一年であったことから、漢字の年も「とし」と訓ずるようになった。また「歳」は、鉞(まさかり)と歩(時のあゆみ)、つまり、穀物の収穫を表した漢字で、「年」と似た成り立ちとなっている。このように年神は、字義からいっても明らか

に五穀豊穡<sup>ごこくほうじょう</sup>をつかさどる神なのだが、陰陽道の歳徳神<sup>おんみょうどう としとくじん</sup>と習合してからは、人間の福德をつかさどるという性格も加わった。ちなみにこの歳徳神、恵方に存するという。そこから、年始や節分に自宅から恵方にある神社仏閣に詣でる習慣が生まれた。これを「恵方参り」と呼び、家長が大みそかの夜から元日の朝にかけて氏神の社にこもる「年ごもり」とともに、初詣の原形といわれている。

また、年神が五穀に通じていることもあって、正月には鏡餅が供えられる。そもそも、餅はハシの日しか食べることでできないごちそうであり、神饌(しんせん)としてはうってつけだ。そして、供え終わると、皆で分けて食べ合う直会(なおらい)が行われる。これは年神と同じもの、もしくは神のより代として餅を食べることで、その力を自分の内側に取り入れようとする営みである。それゆえに、年始のお雑煮や、人日の七草がゆ、鏡開き後の鏡餅など、無病息災を願って一連の正月行事の中で餅を食べる機会が多い。また、「年中行事を『科学』する」(永田久著)によれば、年神から供物のお返しとして「新しい魂」が分け与えられ、一年の活力にするという。実は、この新しい魂が込められたものがより代の鏡餅であり、お年玉の原形なのだそうだ。要は、お年玉ならぬ、「お年魂」ということであるらしい。

年神から頂いたお年魂によって、新たに魂が再生される。真っさらな気持ちでこの一年を過ごせるよう願うといった繊細さは、持ち合わせておきたいものである。(中国新聞・吉村普門寺副住職より)

#### 《 出かけてよかった・楽しかった！！ 》

第28回東広島市生涯学習フェスティバルにお出かけ下さいましてありがとうございました。東西条地域センターからは園芸教室のドライフラワーと小さい庭園盆栽の作品を出展し、体験コーナーは帽子形のマグネットを作成し大変好評でした。出展していただいた皆様、ご参加していただいた皆様、大変お世話になり有難うございました。メイン会場の東広島市芸術文化ホール「くらら」では芸能発表・小中学校音楽フェスティバル・作品の展示など、どれも大変素晴らしく感動しました。また西条駅前「にぎわい広場」ではバザー等が催され、いろんな味覚があったようで親子ずれでいっぱいでした。なかなか座れなくて困っちゃたよね！



## 平成最後の2018年・地域センターはこうでした！！

地域センターでは、地域の皆様が気軽に集える交流の場として多くの主催講座を開設しています。地域の要望や地域課題の解決、さらに地域づくりに役立ち結びつく、地域の活性化支援の一助になるように計画・開催しています。14の主催講座と33の自主活動講座があり、写真で2018年をふりかえってみました。1月はお正月、1月30日・桜が丘保養園さん応援による主催講座「知っ得！健康生活」を開催しました。2月は地域の吉行・土与丸・助実地区、3社会福祉協議会合同主催「まるごと地域サロンパーティ」を開催。3月は20日に東西条小学校2年生が社会見学で来館して下さいました。サクラソウが満開でした。4月は新年度のスタート ①「子ども三味線教室」が4月から月1回、来年3月まで。



②「0から学ぶ子ども将棋」の講座は4月から6カ月間、子ども達は集中力・考える力・挨拶などの礼儀作法を身につけることを目標にスタートしました。

③ 東西条地区住民自治協議会の総会が開かれました。

5月は紫陽花(アジサイ)がきれいに咲きました。市民運動会で東西条小学校区も頑張った。

「はじめての子ども茶道」の講座は5月から9回にわたって「畳に座り静かな空間で茶道を学ぶことで、落ち着いたところの醸成や和室の作法を学ぶ」を学習しました。

6月は松賀中学校生が廃品回収日にセンターの花壇を草取りなど綺麗にして下さった。



7月はアサガオが咲き始めた。7月6日大雨豪雨発生、避難所を開設しました。

24日「主催講座・体験しよう、ミュージックケア」を開催し、大変好評でした。

8月はタイタンピカスの花が咲き圧巻でした。第41回・吉土実盆踊りが開催された。

「理科っておもしろい～夏休み自由研究～」の講座は夏休み中、4日間にわたって学習しました。 国分寺施餓鬼法要盆踊りもありました。



9月は向日葵(ヒマワリ)、ケイトウとコスモスの花が満開。

敬老会のお祝いがホールであり、189名の方が参加・祝福されました。

10月は菊の花が咲きました。「わが子を守る・いざという時の応急手当」の講座が12日に36名の親子参加者でありました。「AEDの操作方法、心肺蘇生法、子どもが誤飲した時の対処法を学ぶ」を東広島消防署のみなさまから学習しました。

11月は「第22回東西条まつり」があり、地域2500名の皆様が来て下さいました。

また17・18日は「生涯学習フェスティバル」が芸術文化ホール「くらら」であり、センターからはドライフラワーとミニ盆栽展示、体験教室では帽子形マグネットを作りました。

12月は16日「脱温暖化キャラバン in 東西条」があり環境問題を勉強しました。恒例のセンター館内、大掃除をして頂きました。活動団体の皆様、有難うございました。



### 「平成の時代が終わる」 来春の大型連休は10連休となりそうだ。

天皇陛下退位、皇太子さま即位、憲法記念日、みどりの日、こどもの日、振替休日を含め4月27日(土)～5月6日(月)まで。ただし地域センターは祝日以外は開けていますよ。休日増により収入減に直結する人、通院・投薬や介護に支障が出る人、保育園が長く休みになると子どもを預けられる先がなく困る人、銀行が休み、物流は動くかしら？など様々な事情が発生します。自衛策が必要かも？・・・新元号はなにになるのかしら？ 混乱が起きなければよいのだが。(センター長 折羽)

### 「消費税10%の時代が到来」

「一億総活躍社会」「女性が輝く社会」と現政権のスローガンは威勢がいい。けれども私たちの社会はそうした方向に向かっているのか。過疎化と少子高齢化に伴う介護ニーズの急増と担い手の不足。社会の動きと個々人の人生は深く結びついている。2019年10月1日から10%時代です。高齢化で膨らむ社会保障費の財源を確保するためだ。財政の健全化もして欲しいものだ。(編集者雑感)